事業所名	つなぐ	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	2025 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念		学習×運動×遊びを通じて楽しく「成長＆自立」を支援し、生きる力を身につけていきます。
支援方針		1．個別支援の徹底 ・5領域のもと一人ひとりの発達状況、特性、家庭環境に応じた個別支援計画を作成し、それに基づいて支援を行う。 2．自己肯定感と社会性の育成 ・「できた！」という体験を積み重ねられるようスモールステップで支援を行い、自己肯定感を育む。 ・集団活動や他者との関りを通じて、社会的スキルや協調性を身に付ける機会を提供する。 3．保護者との連携 ・保護者の思いや意見を尊重し、コミュニケーションを図り、ご家庭でのサポートの共有を含め一体となって支援する体制を構築する。 4．安心・安全な環境の提供 ・安心して過ごせるよう、物理的、心理的に安全な環境を整備する。 ・職員の研修実施や安全管理の徹底などリスク管理を重視する。
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで
送迎実施の有無		（あり） なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	・学校引き受け時に学校での様子の確認を行います。 ・来所時に健康観察を行います。また、手洗いやトイレなどをルール化して行っていきます。 ・準備など準備カードを用意し、時間を決めて行えるようにしていきます。
本人支援	運動・感覚	・学校体育のカリキュラムに合わせて、マット運動や鉄棒、跳び箱、縄跳び等を行っていきます。 ・他児童と協力して行う運動も取り入れていきます。また、粗大運動や微細運動を多く取り入れ、道具を使って運動する経験を養います。 ・土曜運動コースにて専門職が個別で一人一人にあった運動を行っていきます。
本人支援	認知・行動	・学習時間や日課、運動など一日の流れを作り、時間を意識しながら活動します。 ・教室内でのルールを理解し、移動方法や道具を出す順番や片付ける順番を覚えて出来るようにしていきます。 ・避難訓練や命を守る行動を身につけていきます。
本人支援	言語 コミュニケーション	・子どもたち同士で関われる機会が増えるように指導員が橋渡しを行います。 ・気持ちを伝えることが難しい児童への配慮（絵カードや指差し、筆談等をコミュニケーション手段を活用して環境の理解や意思の伝達を支援していきます） ・日課を通して音読を周りと合わせて行う練習や、聞き取り（聞いて処理する力短い情報を記憶する力）を養っていきます。
本人支援	人間関係 社会性	・集団や個別を通して様々な人との関わる機会を増やします。 ・休み時間にて、他児童との関りを増やせるように指導員が促していきます。 ・他児童と協力して運動を行っていきます。
家族支援		・保護者面談　・保護者参観　・関係機関との連携　・親子運動会
移行支援		・他事業所との情報共有 ・相談支援事業所との情報共有
地域支援・地域連携		・各関係各位との連絡事項の共有やケース会議等の連携 ・市内及び市外福祉事業所等との連係 ・研修会への参加等
職員の質の向上		・採用時職員研修（OJT） ・外部研修会参加 ・専門職による研修会
主な行事等		・各季節イベント行事　・体育館での集団運動 ・外出イベント　・公園にて運動